



### はつかいち文化ホールさくらびあ

- 〒738-8509 広島県廿日市市下平良一丁目 11-1  
TEL: 0829-20-0111 FAX: 0829-32-7160
- JR山陽本線「宮内串戸」駅から徒歩約 15 分
- 広電宮島線「廿日市市役所前(平良)」駅から約 7 分  
「宮内」駅から徒歩 12 分
- 広電バス「廿日市市役所」バス停徒歩 1 分  
「可愛」バス停徒歩 2 分
- 廿日市さくらバス「廿日市市役所前」下車
- お車をご利用の方  
西広島バイパスから上平良交差点を南へ約 1 km、  
陸橋を下りてすぐ左折。  
高速道路をご利用の方は廿日市 IC から約 5 分

### 廿日市市商工保健会館

- 〒738-0015 広島県廿日市市本町 5-1  
TEL: 0829-20-0021 FAX: 0829-20-0022
- ※はつかいち文化ホールさくらびあより徒歩 5 分です。
- JR山陽本線「廿日市」駅から徒歩約 15 分
- 広電宮島線「廿日市市役所前(平良)」駅から徒歩約 5 分
- 広電バス「榎浦橋」バス停前
- ※駐車できる台数に限りがございますので、なるべく  
公共交通機関をご利用ください。

### 参加申込方法

下記の申込内容を、NPO 法人ふくし文化塾はつかいちまで、FAX、Eメール、郵送でお知らせください。  
なお、Eメールでお申し込みの際は件名に必ず「ケアする人のケアセミナー申込」と明記してください。  
お申込みいただいた方には、後日、受講票をお送りします。

●お申し込み先 NPO 法人ふくし文化塾はつかいち 〒738-0014 広島県廿日市市住吉 2-7-3  
TEL/FAX: 0829-34-4833 E-mail: bunkajuku20@deluxe.ocn.ne.jp

## 関連企画 ケアする人のケアセミナー in 徳島

日時: 2011年11月19日(土) 10:20~15:30  
基調講演: 「いのちの在り方を考える」 中井弘和 (社会福祉法人「静岡いのちの電話」理事長)  
講演: 「ケアリング・ソサエティ」 播磨靖夫 (財団法人たんぽぽの家理事長)  
分科会: からだで感じるコミュニケーション・ダンスワークショップ/男性介護/食卓共同体一食からうまれるコミュニティ/震災といのちの世話

【お問い合わせ】  
(財)たんぽぽの家  
TEL: 0742-43-7055  
FAX: 0742-49-5501  
E-mail: carecare@popo.or.jp  
http://popo.or.jp/

## ケアする人のケア セミナー in 広島 参加申込フォーム FAX 0829-34-4833

ふりがな	ご所属 (よろしければ、活動先・活動内容などをお書きください。特になければ記入不要です。)				
お名前					
ご連絡先	ご住所(□ご自宅/□勤務先等) ※受講票をお送りします。送付は10月下旬~11月上旬です。				
	TEL(□ご自宅/□勤務先等)	FAX(□ご自宅/□勤務先等)			
	Eメール(□ご自宅/□勤務先等)				
分科会の選択希望 (先着順となります)	第1希望 …… □分科会① □分科会② □分科会③ □分科会④ □分科会⑤				
	第2希望 …… □分科会① □分科会② □分科会③ □分科会④ □分科会⑤				
弁当注文	<input type="checkbox"/> 注文する(700円※当日お支払いください) <input type="checkbox"/> 注文しない	交流会	<input type="checkbox"/> 参加する(参加費500円※当日お支払いください) <input type="checkbox"/> 参加しない		

ご記入いただいた個人情報は、本セミナーの受付事務のみにおいて利用させていただきます。

## ケアする人のケアセミナー in 広島

# 心をつなぎ 地域をつなぐ

現代は人が人を求める時代だといわれています。高齢社会を迎え、医療と福祉の制度やサービスは徐々に整えられてきました。しかし、それだけでは人が生きることを支えきれません。とりわけ、生きることに直に関わるケアを必要とする人や、ケアをになう人が、社会的に孤立化し無力感におちいっていることが問題となっています。本当に安心して暮らしていくためには、地域で暮らす人々が、おたがいに助けあう関係や支えあう仕組みをつくる必要があります。

ケアとは本来、おたがいの存在を大切にしたい関わりあいを、幅広く意味する文化的な営みです。ケアするしんどさ、わずらわしさ、心の乱れなどありますが、その一方で人間的に成長させてくれる、心を豊かにしてくれるものでもあります。そのようなケアの精神が人と人をつなぎ、いのちの尊厳を尊ぶ社会づくりにつながってゆくのではないのでしょうか。

このセミナーでは、さまざまな実践を学びあい、ケアに関わる家族や社会のあり方、地域での支えあいについて考えます。

日時 **2011年11月25日(金)**  
**10:20~15:30 (受付 10:00~)**

**参加費無料  
要申し込み**

会場 **【基調講演】はつかいち文化ホールさくらびあ 小ホール**  
(広島県廿日市市下平良一丁目 11-1)

**【分科会】廿日市市商工保健会館** ※分科会⑥は「さくらびあ」です  
(廿日市市本町 5-1)

主催 財団法人 住友生命社会福祉事業団、財団法人たんぽぽの家  
協力団体 NPO 法人ふくし文化塾はつかいち、公益社団法人認知症の人と家族の会広島県支部、  
NPO 法人広島県介護支援専門員協会、広島県介護福祉士会、佐伯地区医師会、廿日市市五師士会、  
廿日市市社会福祉協議会、毎日文化センター広島  
後援 広島県、廿日市市、株式会社中国新聞社、(社福) 広島県社会福祉協議会、特定非営利活動法人ひろしま NPO センター、廿日市商工会議所

お申し込み先  
**NPO 法人ふくし文化塾はつかいち**  
〒738-0014 広島県廿日市市住吉 2-7-3  
TEL/FAX: 0829-34-4833 E-mail: bunkajuku20@deluxe.ocn.ne.jp

お問い合わせ  
**財団法人たんぽぽの家**  
〒630-8044 奈良県奈良市六条西 3-25-4  
TEL: 0742-43-7055 FAX: 0742-49-5501 E-mail: carecare@popo.or.jp

ケアに元気を、ケアに希望を  
**Carers Japan Broadcasting**

ケアする人のための参加型  
インターネット放送局

**ケアラーズジャパン**  
<http://care-jp.tv/>



スマートフォン  
でアクセス!



ケアする人のケアセミナー in 広島

心をつなぎ 地域をつなぐ

# プログラム



10:00 ~ 10:20

## 受付

[はつかいち文化ホールさくらぴあ(小ホール)入口]

10:20 ~ 10:30

## 開会あいさつ

[はつかいち文化ホールさくらぴあ(小ホール)]

10:30 ~ 10:40

## オープニングアトラクション 広島のグループによる篠笛演奏

■篠笛グループ「響き」(奏者: 柏原 萬良、江村 章子)

平成 13 年 1 月発足。篠笛 福原流名取 福原 百三(ふくはら ひゃくみつ)氏に師事。日本の心を歌う童謡や叙情曲を中心に篠笛、能管、尺八、太鼓、ハーモニカ等を組み合わせて、さまざまなイベントで演奏活動を続けています。

10:40 ~ 11:30

## 講演「変わる家族と介護」

■春日キスヨ(松山大学人文学部社会学科教授)

高度サービス化や個人化が進む社会のなかで、家族意識や家族関係のあり方が変わってきています。それにとまなう要介護者をめぐる状況の変化も見逃せません。介護を誰がになうのか? 家族とは何なのか? それぞれの役割と関係性を問うとともに、家族間で語られにくかった問題についても考えます。

11:30 ~ 12:30

## 対談「ケアの社会化」

■木ノ元陽子(中国新聞社論説委員)

■播磨 靖夫(財団法人たんぼぼの家理事長)

日本では、ケアは家族、あるいは個人の問題という考えが強い。しかし家族の力が弱くなり、コミュニティが崩壊しつつある今、社会のものとしてとらえる必要があります。ケアの社会化と、いのちを支えあうケアの文化について、ジャーナリストの視点から語ります。

12:30 ~ 13:30

## 休憩・会場移動

13:30 ~ 15:30

## 分科会 ①

## 分科会 ②

## 分科会 ③

## 分科会 ④

## 分科会 ⑤

会場  
さくらぴあ  
(小ホール)

15:30 ~ 16:30

## 分科会

### いのちとくらしの再建にむけて

■関口 怜子(ハート&アート空間 Be I(ビーアイ)代表/仙台)

■柴崎由美子(財団法人たんぼぼの家、エイブルアート・カンパニー本部事務局/奈良)

東日本大震災は、私たちの心身に、生活に大きな衝撃を与えました。そして多くの人々が被災した人たちのために自分にできないかと考え続けています。ここでは、子どもを中心とした創造表現活動に取り組むビーアイと、被災した人たちの“生きる力の取り戻し”を支える「笑ってプロジェクト」をおこなうたんぼぼの家の実践から、どんな支援やケアが必要とされているのか、そして一人ひとりにできることを考えます。

### からだで感じるコミュニケーションーダンスワークショップ [定員 25 名]

■佐久間 新(舞踊家/大阪)

コミュニケーションは、言葉だけではありません。多くは身振り、ふるまい、しぐさを通して心を通わせているのです。言葉にならない感覚をダンスを通して体感する、そして伝え合うワークショップです。

### 食卓共同体 — 食からうまれるコミュニティ

■室本けい子(NPO 法人よもぎのアトリエ代表/広島)

■家令 牧(たんぼぼ楽食サービスディレクター/奈良)

■田熊 一郎(ふくし文化塾はつかいち理事/広島)

[コーディネーター] 森 マツエ(ふくし文化塾はつかいち理事/広島)

近年、一家団らんの習慣が少なくなり、家族が個別に食事をする「個食」の人口が増え、食を通じて人と人がつながることの大切さが見直されています。個食の実情も交え、食を通して地域のつながりを支える実践について語りあいます。

### 認知症の人と家族を支えるまちづくり

■金本 提敏(認知症の人と家族の会広島県支部大野地区代表)

■島本 登夫(認知症の人と家族の会広島県支部会員、広島市社会福祉協議会常務理事)

■下川 真稔(廿日市市社会福祉協議会事務局次長兼地域福祉課長)

[コーディネーター] 飯村 富子(日本赤十字広島看護大学教授/広島)

高齢、若年を問わず認知症本人やその家族が自信と誇りを失うケースは少なくありません。忘れること、忘れられることの不安は人と人との共感によって緩和されるのではないのでしょうか。認知症の妻と母親の介護体験を紹介し、そして認知症とともに生きることについて考えます。

### 映画上映「ただいまそれぞれの居場所」(96分) 監督:大宮浩一

画一的な介護制度に疑問を抱く有志が、それぞれの理想の介護を実現させるための施設や事業所を立ち上げた姿を追うドキュメンタリー。設立 23 年の福祉施設や 2000 年の介護保険制度施行以降に新設された施設を訪ね、被介護者と家族のように接する施設スタッフたちを映し出します。(配給/安岡フィルムズ、2010 年度文化庁映画賞「文化記録映画大賞」受賞作品)

[アフタートーク] 広島で事業所を立ち上げ、活躍する若きケアする人の生の声を聞き、これからの介護、ケアについて考えます。

■藤渕 安生(通所介護事業所 玄玄 代表/広島)

■武井 桂子(デイサービス榎町 代表/広島)

### 交流会(希望者のみ・参加費 500 円)

◎お菓子など軽食とお茶を用意しています。セミナーの感想や情報交換など自由に語らう場ですので、お気軽にご参加ください。

※分科会会場が 2 ヶ所に分かれます。分科会①~④は廿日市市商工保健会館、⑤はさくらぴあ(小ホール)

※諸事情により、プログラムの一部を変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。